

森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業「関係人口創出マッチング推進会議」次第

1 開会挨拶

北海道地域協議会事務局長 大澤 英二

2 事業等の説明

- (1) 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業(関係人口創出等活動ほか)について

北海道地域協議会 阿部 ^{としあき} 敏章

- (2) 関係人口創出・維持活動に関するアンケート調査結果について

水産林務部森林活用課 主査 佐々木 ^{ひろや} 裕哉

3 事例発表

- (1) かみかわ里山ネット(旭川市) 代 表 山本 ^{まき} 牧

- (2) 標津の森を守る会(標津町) 副会長 ^{いなみ} 井南 進

4 森林をキーワードに活動している団体の紹介

- (1) 森ジャム実行委員会 実行委員長 山口 ^{しゅんと} 駿人

- (2) 北大森林研究会 代表 ^{あんざい} 安齋 ^{のぶひと} 暢仁

5 マッチング情報交換会(グループセッション)

- (1) Aグループ かみかわ里山ネット

- (2) Bグループ 標津の森を守る会

6 各グループからの報告

7 質疑応答

8 総評

北海道地域協議会 会長 上田 ^{ひろふみ} 裕文

9 閉会

※ 北海道森林・山村多面的機能発揮対策協議会 → 「北海道地域協議会」

森林・山村多面的機能発揮対策交付金とは

地域住民や森林所有者等が協力して行う里山林の保全管理や森林資源を利活用するための活動に対する支援

現場のニーズ

荒れている里山林の手入れや景観維持・保全活動を行いたい



薪やシイタケ原木など森林資源を活用して、山村を活性化したい



森林整備のための歩道を作りたい
整備した森林をみんなで活用したい



活動メニュー

【地域環境保全タイプ】

- 里山林景観を維持するための活動
- 風倒木や枯損木の除去活動等

【森林資源利用タイプ】

- 集落周辺の広葉樹等の伐採、搬出活動等

メインメニュー

サイドメニュー

- 路網の補修・機能強化
- 資機材の整備
- 関係人口の創出、維持活動
(上記メインメニューと組み合わせて実施)

支援メニューと国の交付額(金額は1年あたり)

活動推進費(3年間の活動計画を具体化する取組に対する支援)

現地の林況調査、活動計画の実施のための話し合い、研修等

(3年計画の実行初年度のみ対象: 上限112,500円)

メインメニュー

地域環境保全タイプ

里山林保全活動

最大120,000円/ha

侵入竹除き・竹林整備
道では対象外

285,000円/ha

森林資源利用タイプ

薪等として利用するための
伐採・搬出等の活動

最大120,000円/ha

サイドメニュー

路網補修等

路網の補修・機能強化
等(800円/m)

資機材の整備

整備する資機材
(1/2又は1/3)

関係人口創出等活動

10名以上の地域外関係者
が参加する活動
(50,000円/年1回)

地域環境保全タイプ（助成単価最大120,000円/ha 285,000円/ha）



○里山林保全活動（助成単価：120,000円/ha）

里山林景観を維持するための活動

見回りのみではダメ

雑草木の刈払・集積・処理、落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、地拵え、植栽、播種、施肥、不要萌芽の除去、緩衝帯・防火帯作設のための樹木の伐採・搬出、風倒木・古損木の除去・集積・処理、土留め・鳥獣害防止柵等の設置、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング、損害保険等



○侵入竹除去、竹林整備活動（助成単価：285,000円/ha）

高密に侵入したモ

北海道は、竹林がないので対象外

竹・雑草木の伐採・搬出、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング、損害保険等

森林資源利用タイプ（助成単価最大120,000円/ha）

雑草木の刈払・集積・処理、落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、木質バイオマス・炭焼き・しいたけ原木・伝統工芸品原料のための未利用資源の伐採・搬出・加工、特用林産の植付・播種・施肥・採集、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング、損害保険等



見回りのみではダメ

サイドメニュー

路網の補修・機能強化

歩道や作業道等の作設・改修、鳥獣害防止柵の設置・補修、及びこれらの実施前後に必要な森林調査・見回り

(助成単価:800円/m)

※見回りのみは不可

活動の実施に必要な 機材及び資材の整備

各活動を実施するために必要な機材及び資材の購入・設置に対して、必要額の2分の1又は3分の1以内を支援

関係人口の創出・維持等の活動

活動に際し、地域住民に加え、10名以上の地域外関係者の参加を創出するため、受入準備、受入に伴う掛かり増し経費のソフト経費に対しての支援

(助成単価:50,000円/年1回)



※3年間の計画の中でメインメニューと
組合せて実施

メインメニュー

関係人口（マッチング）に係る取組

- ・都道府県、市町村、地域協議会が連携して関係人口創出・維持に係る取組支援を検討
- ・具体的には、①活動組織と関係人口の両者を対象としたマッチングイベントの開催や②イベント時以外に関係人口に係る情報を関係者間で共有、などを想定

活動のイメージ

関係人口に係る情報収集等

- ・ 関係人口とは、森林整備保全、環境問題、地域活性化、SDGs等に関心がある、移住した定住人口でもなく、観光に来た交流人口でもない、地域内外の人々と多様に関わる者
- ・ これら関係人口の情報を活動組織や市町村等から収集し、連携した取組等を希望する活動組織等へ情報提供

マッチングイベントの開催

- ・ マッチングイベントとは、活動組織と関係人口を結びつけるためのイベント
- ・ 既実施団体の優良事例を発表してもらい、参加者で事例を共有
- ・ 活動組織と関係人口双方のPR
- ・ その後、取組に向けた打合せ等を実施

森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業に関する アンケート調査結果報告書

～ 「関係人口の創出・維持の活動」の今後の取組予定について ～

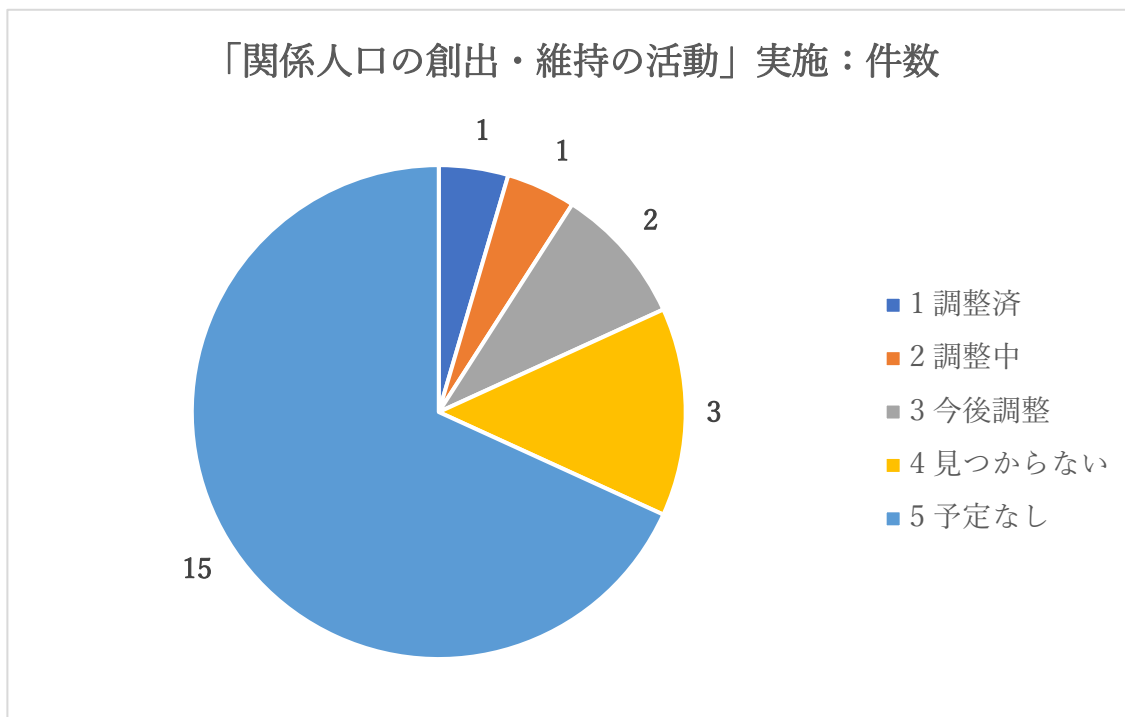
Ⅱ アンケート調査概要

- ・ 目的:本調査は、活動組織に対する今後の「関係人口創出・維持活動」の実施の意向を調査し、当該事業を進めるうえでの基礎資料とする。
- ・ 期間:令和 4 年 10 月 11 日(火)～10 月 25 日(火)
- ・ 対象:令和 4 年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金 活動組織
(活動期間:令和 2 年度～4 年度)
- ・ 依頼数:74 活動組織
- ・ 回答数:22 活動組織(29.7%)

Ⅲ アンケート調査項目と回答結果

(1) 令和5年度(来年度)に「関係人口の創出・維持の活動」を実施する予定はありますか
(選択式)

- 1 地域外関係者と調整が済みであり、令和5年に実施する予定がある(調整済)
- 2 地域外関係者と調整中であるが、令和5年に実施する予定がある(調整中)
- 3 地域外関係者と今後調整を始め、令和5年に実施する予定がある(今後調整)
- 4 地域外関係者が見つからないが、令和 5 年度に向けて実施を検討している(見つからない)
- 5 令和5年に実施する予定は無い(予定なし)



(2) 上記回答が 5 の場合、実施しない(できない)理由

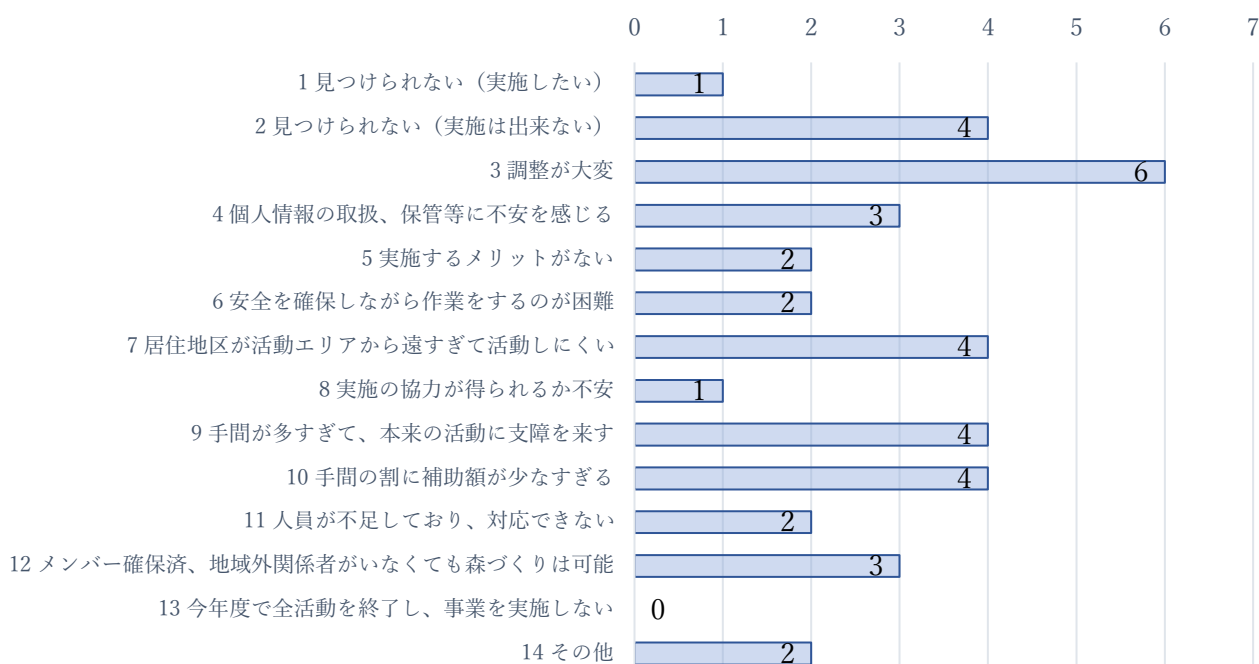
(選択式)

- 1 域外関係者が見つけられないため(見つければ実施したい)
- 2 地域外関係者が見つけられないため(見つかったとしても実施は出来ない)
- 3 地域外関係者との調整が大変なため(実施要件や事務手続きが煩雑)
- 4 地域外関係者の個人情報の取扱、保管等に不安を感じるため
- 5 地域外関係者と実施するメリットがないため
- 6 地域外関係者の安全を確保しながら作業をするのが困難なため
- 7 地域外関係者の居住地区が、活動エリアから遠すぎて活動しにくい
- 8 実施に当たり、地域外関係者の協力が得られるか不安なため
- 9 手間が多すぎて、活動組織本来の森づくり活動に支障を来すため
- 10 手間の割に、補助額が少なすぎるため
- 11 活動組織内の人員が不足しており、対応できないため
- 12 活動組織内のメンバーが確保出来ており、地域外関係者がいなくても森づくりは可能であるため
- 13 令和4年度で全活動を終了し、森林・山村多面的機能発揮対策事業を実施しないため
- 14 その他

※1 交付金対象外の森で 10 年前から植樹・育樹活動をしております。年に一度のイベントとして、コープ会員の参加が多くあります。

※2 事前に「地域外関係者」を特定するのは無理です。

実施しない（できない）理由：件数



木こいとガイドの技術交流

多面的機能交付金 関係人口創出

かみかわ里山ネット(旭川)



木こりの
森の手入れ術と読む眼

ガイドの
森遊びテクと感じる心

森を4倍楽しむ
技術交流





参加者
南富良野

どんころ野外学校ガイド
新得、東神楽など

木こい
かみかわ里山ネット

フィールド：旭川市東鷹栖 かみかわ里山ネット 14線山林（計8ha）
平らな広葉樹二次林 歩道とテラス、資材庫、焚き火場、安全装具など整備



チェーンソー伐倒 トレーニング

北欧スタイルで
安全に、正確に



こちらでは
かかり木の
牽引処理

ガイドはロープと滑車に慣れている





伐根を見て
センサー操作を再確認

A photograph of three people in winter gear playing in a snowy forest. The person in the foreground is wearing a blue jacket, orange pants, and a red helmet, and is kicking their leg. Two other people in similar gear are standing behind them. The background is a snowy forest with bare trees.

**冬の遊びと言えば、
まずはカンジキ**

メープルシロップを
新雪に垂らすと
天然キャンデー





フィールドにはこんな施設も 立木を生かした森のテラス

小学生が森を見渡す



やるとハマる 薪割り体験



チェーンソーの基礎 まずは玉切りから

テキストはもりねっと編
「森づくりとチェーンソー」



山林内の木で小屋を建てる地材地建
森を読み、森を手入れし、森で遊ぶ
技を身につけた仲間が増える



令和4年度
森林・山村多面的機能発揮対策交付金



標津の森を守る会

関係人口創出・維持タイプの取り組み

内容

- 1.活動組織の概要
- 2.ポー川自然史跡公園
- 3.活動内容
- 4.安全訓練実施状況
- 5.令和3年度関係人口創出の取組
- 6.過年度の関係人口との交流状況
- 7.令和4年度 関係人口との交流状況
- 8.課題・問題点など

2022年12月14日
オンライン開催

標津の森を守る会

会長 : 田村憲夫

事務局 : 井南 進

事務所所在地 : 標津郡標津町

標津の森を守る会活動位置



● 実施場所

● 標津郡標津町字伊茶仁

● 57番地1

● 60林班08・09小班

● 所有者: 標津町

● 管理者: 標津町教育委員会

● 担当 : ポ一川自然史跡公園

● 1. 活動組織の概要

- ・「標津の森を守る会」は、森林・山村多面的機能発揮対策交付金の申請をするため、平成27年1月に設立。
- ・会の目的： 標津の森を守る会の構成員による森林・山村の多面的機能発揮のための活動を通じ地域の活性化を図ることを目的とする。
- ・取組内容・背景： 標津町が管理するポー川自然史跡公園内の420haの森林は、未整備のため、風倒木、枯損木、笹、雑草等が蔓延し荒廃してきました。このため標津町の住民（当初19名）が標津の森を守る会を設立し、公園内の森を整備し、自然体験学習、森の生物学学習、自然観察会を開催することにより、標津町と都市との交流人口の拡大、及び地域の活性化を図る必要があった。また2020年に日本遺産として登録された世界最大級の竪穴住居郡の周辺を整備し、公園内の環境を整えることにより1万年の歴史文化の教育や体験を行うことができ、地域住民の絆を深める活動の場所として、地域全体の活性化を図ることが出来る。

森林・山村多面的機能発揮対策交付金
実施場所 面積5.5ha
60林班08・09小班
平成29年より実施

森林・山村多面的機能発揮対策交付金
実施場所 面積 4.8ha
60林班01・14小班
平成27年より実施

標津町歴史民俗資料館

国指定
天然記念物標津湿原
面積 212 ha

カリカリウス遺跡

ポー川史跡自然公園
面積 640ha

要整備区域
アカエゾマツ樹林帯
面積 約150 ha

その他区域
倒木・枯損木処理と植樹
(ミズナラ・シラカバの苗木)
予定面積 約 150 ha

2. ポー川自然史跡公園

所在 : 標津郡標津町字伊茶仁57番地1

面積 : 全体面積 約640ha

国指定の特別天然記念物標津湿原 212ha

針葉樹(人工林アカエゾマツ) 150ha

倒木・枯損木処理・広葉樹の植樹可面積 150ha

森林の状況

- : 針葉樹林はアカエゾマツは植樹後50年ほど経過しているが、過去に整備・管理がされたことは無い。
- : 広葉樹林は、ミズナラとカバ類が多いが、樹齢が大きく、カバ類に関しては、毎年風倒木が多数発生する。
- : 特徴としては、ササにより新しい苗木や萌目が見られない。

3. 活動内容

- ・ 平成27年より、活動推進費・地域環境保全タイプ
61林班23・24小班、人工林の間伐・下枝払
- ・ 平成30年より、活動推進費・地域環境保全タイプ・森林機能強化タイプ
60林班08・09小班草刈
- ・ 令和3年より、森林資源利用タイプ・関係人口創出・維持タイプ・森林機能強化タイプ
60林班08・09小班の風倒木処理
同上、長野県生坂村中学校受け入れ
- ・ 令和4年度、森林資源利用タイプ・森林機能強化タイプ
60林班08・09小班の風倒木処理

活動内容

地域環境保全タイプ

ササ・雑草刈取作業 同一箇所で作業前後の比較

作業前

作業後



活動内容

森林資源利用タイプ 5.5ha
森林機能強化タイプ 200m



活動内容

散乱している枝をチップパーで処理



燃料用薪を作り活動資金とする



4.安全訓練実施状況



安全教育実施状況

外部研修機関での「労働安全衛生法による特別教育」受講

刈払機取扱作業者 伐木等の業務者特別教育

北海道労働局長登録講習機関での講習参加



5. 令和3年度 関係人口創出の取組

標津町中学校と長野県生坂村中学校との交流事業

令和3年10月23日

長野県生坂村中学校 27名(引率者6名含)

標津町内中学校 **24名(引率者6名含)**

添乗員他関係者 **8名** **合計59名**



関係人工創出の取組

関係人工維持タイプ

林業体験、風倒木処理状況



関係人工創出の取組

関係人工維持タイプ

大阪阪南大学、森繁教授他6名
令和4年度来町予定及び内容打合せ



6. 過年度の関係人工との交流状況

平成28年 神奈川県相模女子大学、神奈川県立健康福祉大学 下枝払い体験



過年度の関係人工との交流状況



過年度の関係人工との交流状況

平成30年度実施
草刈後のミズナラの萌目探し
地元小学校参加
見つけた萌目の横に日付と日付と名前を
つけた見出し杭を設置



過年度の関係人工との交流状況



過年度の関係人工との交流状況

令和1年度 地元小学生の森林学習



過年度の関係人工との交流状況

その他の交流状況



7. 令和4年度 関係人口対応状況

長野県生坂村中学校・標津町中学校交流 森林教育実施



北海道アウトドアガイド資格保持者による説明



関係人口創出・維持タイプ

② 関係人口創出の取組に至った経緯

- ・過年度より近隣住民、及び教育機関との協議により、近隣町の幼小中学校を対象に森林体験教育を実施していた。

③ 関係人口創出の取組

[概要・具体的取組]

- ・長野県生坂村中学校と標津町中学校の生徒を、多面的機能発揮対策事業の森林資源利用タイプ作業に参加し、体験教育を実施する。

[効果、メリット及びデメリット]

- ・標津町は根室海峡の海に面した街で、酪農と鮭漁を中心とした地域であり、豊かな森を育てることが、豊かな海を育てることにつながる等、体験教育により子供たちに伝えることができた。
- ・今年度より、双方の中学校が、お互いに修学旅行の行き先とすることとなり、標津にとっても経済的な効果も発生する。

[内燃以降の取り組み]

- ・現状では、今年度のような森林教育的な内容で、近隣の市町に働きかけ、一般の人も含めて、関係人口の拡大に努めたい。

8. 課題・問題点について

[課題]

- ・会員の高齢化

組織の発足当初は19名程の会員が活動していたが、現在は実稼働が出来る会員は12名ほどになってる、常に募集はしているが、新規会員の確保が大変。

- ・安全管理

全体の安全教育の他に、作業前のKYKを行なっているが、枝や笹につまずく等、ヒューマンエラーによるヒヤリハットがある。

[問題点]

- ・令和4年度の関係人口創出・維持タイプの実施について

採択申請時において、関係人口の参加者氏名の提出が求められていたが、詳細不明のため申請を断念した、団体名のみでの申請でも良いのではないか。

- ・安全管理対応

実際の林業体験を実施するには、保護帽の準備他の安全対策が必要となるので、森林教育程度の関わり方となる。

- ・経費の不足

関係人口創出・維持タイプの交付金額が少ない、また関わる施設の整備等の助成額が1/3以内で、不足分については会の持ち出しとなる。

ご清聴有難うございます

標津の森を守る会